

# 生産性向上、品質安定化、省人化に貢献する 最新のソリューションを展示

2026国際ウエルディングショー

展示会出展案内

## *i*<sup>3</sup>-Mechatronicsで 新たな価値をリアルな“かたち”に

integrated

統合的

intelligent

知能的

innovative

革新的

9月16日(水)～19日(土)の4日間、  
東京ビッグサイトで開催される「2026国際ウエルディングショー」に出展します。

これまで培ってきたモーションコントロール技術を基盤に、溶接・接合工程における生産性向上、品質安定化、省人化に貢献する最新のソリューションをご紹介します。多様化するお客さまの課題解決に向けたご提案をご用意しておりますので、安川電機ブースへお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

### 多様化する接合ニーズに対応するYASKAWAの接合ソリューション



アーク溶接ロボット  
MOTOMAN-AR1440



中空アームスポット溶接ロボット  
MOTOMAN-SP110HL



人協働AIロボット  
MOTOMAN NEXT-NHC12



デジタルガルバノスキャナ  
MIRAMOTION

### 主な出展製品・ソリューション

- 工程をつなぎ、品質をつくる。次世代スマート溶接電源
- MOTOMAN NEXT 熟練型アーク溶接
- 技能伝承、人手不足解消に貢献 ティーチングレス溶接
- スポット溶接現場の人手不足と技術継承への対応
- レーザー×ガルバノ×モーション制御で次世代レーザーアプリに対応
- ロボット導入後のお悩みをMOTOMAN契約サービスで解決

最新のソリューションを紹介する  
展示会の詳しい内容をチェック!



■ お問い合わせ先

ロボット事業部 事業企画部 販売推進課  
TEL : 093-645-7715

# 新メカトロニクス応用領域で AIロボティクスによる食品分野への自動化提案

FOOMA JAPAN 2026

展示会出展レポート

## 食を大変革

多様なパートナーとのエコシステム構築で  
持続可能な社会の実現に貢献

6月2日(火)～5日(金)の4日間、  
東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2026」に出展しました。

当社は、ソリューションコンセプト*i*<sup>3</sup>-Mechatronicsを基軸に、モーション制御技術とAIによる認識・判断を融合したAIロボティクスを展開。今回は、AIロボットMOTOMAN NEXTを通じて、“Easy to Setup”(短期間で立上げ)、“Easy to Use”(現場で扱える)の両立を実現し、人の判断に依存していた工程においても、継続的な運用が可能な自動化をご提案。

会場では、ソフトウェア、学習済みAIモデル、GUIをパッケージ化したAIロボティクス技術をはじめ、様々なご相談やご質問をいただき、皆さまの高い関心を実感いたしました。

今後とも、皆さまの課題に寄り添うソリューションを提供してまいります。



中食トッピング

AIロボットに充填ノズルを持たせ、見本写真と充填量の作業指示だけで弁当にソースを充填する様子をご紹介します。実際の弁当をカメラで撮像、未充填箇所をAIが認識し、対象物の状態に応じて判断・動作を自律的にを行います。



球状青果の向きをそろえる

AIロボットがコンテナにばら積みされたりんごを取り出し、向きをそろえて配置する様子をご紹介します。学習済みAIモデルを使用したAIビジョンでりんごの特徴を認識し、パスプランニング機能で最適な動作経路を自動生成します。

### その他 出展製品



人協働パレタイズパッケージ  
「CoboPal3」  
MOTOMAN-HC35



ラボオートメーションシステム  
「Y's-SF SmartLab」  
MOTOMAN-HD7



植物工場システム  
「アグリネ」



*i*<sup>3</sup>-Mechatronics コア技術  
「モーション制御・モータドライブ」

展示品の  
詳しい内容をチェック



■ お問い合わせ先

営業本部 食品農業事業開発営業部  
TEL : 03-5402-4579

# これまで自動化が困難とされてきた 領域に向け最新ソリューションを展示。

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

展示会出展レポート

## i<sup>3</sup>-Mechatronicsで 新たな価値をリアルな“かたち”に

6月11日(木)～13日(土)の3日間、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催された「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026」に出展しました。

昨今、フィジカルAIという言葉が注目を集める中、当社ブースではAIロボット「MOTOMAN NEXT」を活用したAIロボティクスの取り組みをご紹介します。AIロボットの社会実装の事例として、組立領域、梱包作業、段ボールの開梱といったソリューションをご提案しました。また、中部地区を中心とした製造業のお客さまに対し、設計データの活用により生産変動へ柔軟に対応可能なスポット溶接セルや、人協働ロボットによるスマートパレタイズなどを提案することで、新たな技術によって未自動化領域の自動化を実現し、人手不足や品質課題の解決につながるものづくりの姿をお伝えしました。



変種変量に対応する  
AIロボット組立セル

AIロボットとYCS※による動作の自動生成により、部品の長さや組合せの違いに柔軟に対応できる様子をご紹介します。細長い紙の筒やジョイントを組み合わせ、複数の家具の組立てを実演しました。

※：YCS:YASKAWA Cell Simulator



自動車部品の生産変動に対応する  
フレキシブルスポット溶接セル

設計情報から溶接動作を自動生成することで、品種の追加・変更時でもスムーズに立上げ可能な仕組みをご紹介します。ドアフレームやホイールハウスなど異なるワークにも柔軟に対応する様子を実演しました。



双腕AIロボットによる梱包作業の自動化



AIロボットによる原材料投入ソリューション



AIロボットによる物流工程自動化ソリューション



AIロボティクスの取り組みを紹介した  
展示会の詳しい様子をチェック!

### ■ お問い合わせ先

ロボット事業部 事業企画部 販売推進課  
TEL : 093-645-7715